

笑顔あふれる真夏の宵

恒例の花火タイム、それぞれの手に光のシャワー



夏祭り、あるいは盆踊りはいつも真夏の暑い盛りに行われます。もっと気候の穏やかな時にやればいいのではな

いかと思っ
たことばあ
りません
か。
しかし、
この暑さの
中でやるか
らこそ「夏
祭り」とい
うのも当然
です。
夏の激し
い日差しが
静まった夜
に、お互い
の健康を確
かめあうと
いうのが始
まりかも知
れません。
八方原ふ
れあい盆踊
りは今年も

月の第一土曜日に行われました。

先人の偉業に思いをいたし、静かに祈りをささげる日でもあります。それが盆踊りの所以でもあるでしょう。

とはいえ、準備は何日も前から取り掛かり、飲み物や食べ物などの予約や、必要な手続きなど多種多様な仕事があります。

当日は朝から、厳しい暑さでしたが自治会役員、班長さんの奮闘で、楽しい盆踊りを過ごすことができました。

ご協力ありがとうございました

平成30年度の八方原ふれあい盆踊り大会の開催につきまして、各方面より過分なご芳志、お力添えを頂きました。紙面を借りてお礼を申し上げます。ご協賛事業所ご芳名

順不同・敬称略

- 山口金属曲板工業株式会社
- 山陽鋼機建設株式会社
- 株式会社岩多屋山口支店
- 高山造庭園株式会社
- 三共ピアノ運送株式会社
- 有限会社ナカテック



自治会の準備委員会とは別に、食べ物バザーの運営の打ち合わせ会議も開催、年代を越える話し合い。

- 農事組合法人八方原株式会社ネハリ
- 日鉄住金P&E株式会社
- 大楽電機株式会社
- 田中酸素株式会社山口営業所
- 株式会社グリーンクロス
- 株式会社エクス山支店
- 有限会社朝日化学
- 株式会社ライフ
- 中国ケミ株式会社山口営業所
- 桃太郎
- 林建材店

猛暑日の連続 降水なし

平成30年、今年の暑さは記録的で、しかもほとんど雨が降りません。稲をはじめとする農作物にとって水は最も重要であることは言うまでもありません。

数年前にも同様に雨が降らないことがありました。しかしお盆を境に、雨が降り始め、揚水の心配はなくなりました。しかし、今年の天候はその状況が大きく上回る厳しいものとなって



ゲートの上端まで水位が上がらない (8月15日)

こんなこともできるのか「ラッキー」

「新山口ゆめフェスタ」というイベントが8月26日、小郡地域交流センターを中心に行われました。今回で6回目となりますが、このイベントは吉南JICが、中心となり、小中学生に職業体験をしてもらうというものです。日頃は体験できない本職の道具を使うことができるのも、このイベントの大きな特長です。岡崎木工は、木工制作の体験コーナーを開いていました。ブックスタンドやゲーム盤など



木工制作に取り組む参加者、みんな真剣

を作成して、出来上がったものは持ち帰りができます。今では一般の家庭で鋸で木を切るなどは、珍しいことかもしれません。薬局の模擬店では、薬剤師の使う実際の機械を使って、薬の分包を体験できました。こうしたモノづくりや、本当のサービスを体験することで、地元の企業や仕事を知ってもらうこと、関心をもってもらうことも、このイベントの大きな目標です。自分たちで作ったブックスタンドを抱えて、うれしそうな表情の親子連れが印象に残りました。

います。

榎野川の本流の水量も日に日に下がります。8月15日には、りんこう井堰の上流側の水位はゲートの上端まで届かない状況になりました。こうなると、揚水取水口の水位も下がり、ポンプはフル運転ですが、水量は本来の揚水量になりません。

激しい雨で各地で大きな被害が出た今年の夏ですが、なんとか穏やかに雨になってほしいところです。

千年以上続く慰霊祭

山口駅前通りの通りに面して八坂神社の御旅所があります。8月26日、近隣の子どもたちや親御さんが集まってわいわいと賑やかに遊んでいました。

実は、福部祭りという伝統行事です。福部童子というのは菅原道真の子どもの名前ですが、京都から九州に父親に会いに行く途中、山口の地で病死してしまい、その慰霊のためのお祭りだそうです。

年代を調べると菅原道真が九州に流されたのは西暦900年、亡くなったのは903年となっています。つまり、



右下の小さな炉、無病息災の焚火のため

童子の御霊を慰めるのだそうです。千年の時を超えて、続く慰霊祭が、このように静かに行われています。

福部童子はその間に、この地で息絶えたわけですから、それから1100年以上にも亘って伝わる慰霊祭ということになります。子ども同士で楽しく過ごして、福部